

選考方針

- (1) 全プログラム共通の選考方針はp. 4をご覧ください。
- (2) 提出された申請書に基づき、外部専門家の意見を聴取の上、採否を決定します。
- (3) 以下のような事業については、相対的に高い評価が与えられます。
 - ア 巡回公演（ツアー）部門・共同制作（コラボレーション）部門共通
 - ・参加するアーティストの活動拠点が日本である事業
 - ・フランス、英国、ドイツ、イタリア等既に日本との舞台芸術交流が十分になされている国以外の欧州諸国にネットワークを広げる効果が期待できる事業
 - ・日本の優れた舞台芸術の紹介や、日本の舞台芸術の最新動向を反映した事業
 - ・国際芸術祭や周年事業に関連する事業
 - ・紛争・災害からの復興に対する文化事業を通じた協力を含む事業
 - イ 巡回公演（ツアー）部門のみ
 - ・過去にパフォーミング・アーツ・ジャパンのコラボレーション（共同制作）部門で助成を受けて制作された作品
 - ・欧州の2か国以上を巡回する事業

申請締切

2017年10月31日（必着）

※このプログラムの詳細は、各対象国を管轄する国際交流基金の海外事務所（下記別表参照）にお問い合わせください。

〈別表〉

拠点名	対象国
ロンドン日本文化センター (PAJ欧州事務局)	英国、アイスランド、アイルランド、エストニア、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、ラトビア、リトアニア
パリ日本文化会館	フランス、アンドラ、ベルギー、モナコ、ルクセンブルク
ローマ日本文化会館	イタリア、アルバニア、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、バチカン、マルタ
ケルン日本文化会館	ドイツ、オーストリア、オランダ、スイス、リヒテンシュタイン
ブダペスト日本文化センター	ハンガリー、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、チェコ、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ルーマニア
マドリード日本文化センター	スペイン、ポルトガル

4 海外展助成

申請書略号: Q-EAS

担当: 文化事業部事業第1チーム/第2チーム

日本の美術や文化を紹介することを目的として、諸外国において展覧会を実施する海外の美術館・博物館等に対し、経費の一部を助成します。また、日本の作家・作品を紹介する海外の国際展に対し、経費の一部を助成します。

申請資格

海外の美術館・博物館等の団体。

※複数箇所を巡回する展覧会は、代表する機関がとりまとめて一つの申請としてください。

対象事業

2018年4月1日から2019年3月31日までの間に開始される、以下のいずれかの事業。

- (1) 海外の美術館・博物館等が海外において企画・実施する展覧会
- (2) 日本の作家・作品が紹介される海外の国際展（ビエンナーレ等）
- (3) 滞在期間中の作品発表を前提としたアーティスト・イン・レジデンス型事業で、滞在地の市民や美術関係者との交流や、成果発表（展覧会）のコンセプト及び計画が明確な事業

助成内容

2018年4月1日から2019年3月31日までの間に発生する以下の3項目を対象に経費の一部を助成します。

- (1) 作品輸送費（ただし作品保険料は含みません）
- (2) 図録作成費（デジタルカタログも含まれます、ただし国際展の場合、図録作成費は、参加する作家のうち日本人作家の割合に応じた作成経費の一部が対象となります）
- (3) 作家・専門家旅費（航空賃・鉄道賃・宿泊費。ただし事前調査経費や準備経費は含みません）

※作品制作費、インスタレーション経費、作家謝金等は対象となりません。

採用実績（参考）

採用28件／応募78件（平成29年度）

選考方針

- (1) 全プログラム共通の選考方針はp. 4をご覧ください。
- (2) 提出された申請書に基づき、外部専門家の意見を聴取の上、採否を決定します。
- (3) 以下のような展覧会については、相対的に高い評価が与えられます。
 - ア その国でこれまで類似の展覧会が開催されたことのない、優れたキュレーションによる展覧会
 - イ 周年事業等に関連する展覧会（p. 4 参照）
- (4) 以下のような展覧会については、優先順位が低くなります。
 - ア 近い過去に国際交流基金の助成を受けている申請者の計画
 - イ 複数箇所を巡回する展覧会で、過去に国際交流基金の助成を受けたことのある展覧会
 - ウ 姉妹都市間又は学校間交流等特定の関係者同士の友好親善を主な目的とする展覧会
 - エ 公募作品により構成される展覧会
 - オ 趣味的サークルや同好会による展覧会

申請締切

2017年12月1日（必着）

結果通知

2018年4月

5 欧米ミュージアム基盤整備支援

申請書略号: Q-MIS

担当: 文化事業部事業第1チーム／第2チーム

日本美術コレクションを有する欧米の美術館・博物館を対象に、保有する日本美術コレクションの有効活用を促すための各種助成を行い、支援先機関が日本美術紹介を行う上での基盤整備に協力します。

平成30年度の募集実施は現時点では未定です。募集を行う場合はウェブ上で通知します。

採用実績（参考）

採用5件／応募10件（平成28年度）